

2024年2月1日

## 森林環境教育 福岡市立脇山小学校

5年生 13人

脇山小は早良区の山間にある小規模校で森林環境教育は初めて実施することと、当初の希望はクラフトの予定でしたが、当会のこれまでの活動報告を提示したところ森林観察に変更したいとのことで、脇山野営場をフィールドとしました。

当日は朝から雨で雨天プログラムに変更し、工作室で樹木観察、葉っぱのフロッターージュ、森林の講話、どんぐりと木の枝のストラップ作りのメニューを実施しました。

野営場までの移動時間が無くなった分、中休みを含めると2時間以上の実施時間となりました。

(樹木標本を前に講座開始)



(葉っぱの話聞く)



樹木観察では冬季なので常緑樹のほかに落葉樹の代わりとして冬芽や葉痕のサンプルも準備しましたが、葉っぱのフロッターージュは人気で中休みの間もずっとやっていました。子供たちは素直で、森の講話も熱心にメモを取りながら聞き、質問も数多く出ました。

最後は時間までどんぐりと木の枝のストラップ作りをしましたが、予定時間一杯、用意していた材料がなくなるほど2個3個と作っていました。

子供たちは身近に森林があるにも関わらず、あまり触れ合う機会が少ないとのことで、あらためて森林に興味を持ってもらえたらいいなと思います

(森の講話)



(ストラップ作り)



スタッフ 樋口、田川 (報告 田川)